

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成31年3月25日

【事業年度】 第148期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

【会社名】 マツダ株式会社

【英訳名】 Mazda Motor Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 丸本 明

【本店の所在の場所】 広島県安芸郡府中町新地3番1号

【電話番号】 (082)282-1111

【事務連絡者氏名】 財務本部 経理部長 竹多 政博

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区内幸町一丁目1番7号

【電話番号】 (03)3508-5040

【事務連絡者氏名】 財務本部 資金部長 野崎 敬吾

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年6月25日に提出いたしました第148期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(税効果会計関係)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第5 【経理の状況】

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【注記事項】

(税効果会計関係)

(訂正前)

1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
繰延税金資産		
貸倒引当金	1,528百万円	1,226百万円
退職給付引当金	23,417百万円	一百万円
退職給付に係る負債	一百万円	24,034百万円
減損損失	5,308百万円	4,539百万円
未払賞与及びその他引当金	19,226百万円	33,734百万円
たな卸資産評価減	6,613百万円	5,659百万円
投資有価証券等評価損	1,399百万円	1,405百万円
繰延ヘッジ損益	9,043百万円	672百万円
繰越欠損金	119,359百万円	88,189百万円
その他	46,082百万円	36,770百万円
繰延税金資産小計	231,975百万円	196,228百万円
評価性引当額	△162,737百万円	△84,089百万円
繰延税金資産合計	69,238百万円	112,139百万円
繰延税金負債		
資産除去債務に対応する除去費用等	△7,050百万円	△5,841百万円
繰延税金資産の純額	62,188百万円	106,298百万円

(省略)

(訂正後)

1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
繰延税金資産		
貸倒引当金	1,528百万円	1,226百万円
退職給付引当金	23,417百万円	一百万円
退職給付に係る負債	一百万円	24,034百万円
減損損失	5,308百万円	4,539百万円
未払賞与及びその他引当金	19,226百万円	33,734百万円
たな卸資産評価減	6,613百万円	5,659百万円
投資有価証券等評価損	1,399百万円	1,405百万円
繰延ヘッジ損益	9,043百万円	672百万円
繰越欠損金	119,359百万円	88,189百万円
その他	47,273百万円	40,706百万円
繰延税金資産小計	233,166百万円	200,164百万円
評価性引当額	△162,737百万円	△84,089百万円
繰延税金資産合計	70,429百万円	116,075百万円
繰延税金負債		
関係会社の留保利益	△3,652百万円	△3,936百万円
退職給付に係る資産	△1,273百万円	△1,374百万円
資産除去債務に対応する除去費用	△1,502百万円	△1,304百万円
その他	△1,814百万円	△3,163百万円
繰延税金負債合計	△8,241百万円	△9,777百万円
繰延税金資産の純額	62,188百万円	106,298百万円

(省略)